

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

|        |                     |
|--------|---------------------|
| 所管課    | 都市戦略局都市再生推進部緑政課     |
| 評価対象期間 | 平成31年4月1日～令和6年3月31日 |

## 1 指定概要

|           |      |  |   |       |
|-----------|------|--|---|-------|
| 施設概要      | 名 称  | ソラランド平尾台（北九州市平尾台自然の郷）                                | 施設類型  | 目的・機能 |
|           | 所在地  | 小倉南区平尾台一丁目   |   |       |
|           | 設置目的 | 自然環境に対する理解を深めるとともに、平尾台における観光及び産業の振興に資することを目的とする。     |   |       |
| 利用料金制     |      | 非利用料金制 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 一部利用料金制 | 完全利用料金制   |       |
|           |      | インセンティブ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無    | ペナルティ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 |       |
| 指定管理者     | 名 称  | ハートランド平尾台株式会社  |   |       |
|           | 所在地  | 小倉南区平尾台一丁目1番1号                                       |   |       |
| 指定管理業務の内容 |      | 施設の管理運営及び維持管理業務、植物維持管理業務                             |   |       |
| 指定期間      |      | 平成31年4月1日～令和7年3月31日                                  |   |       |

## 2 評価結果

| 評価項目及び評価のポイント  |                    | 配点              | 評価<br>レベル | 得点       |          |          |
|--|--------------------|-----------------|-----------|----------|----------|----------|
| 1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み  |                    | 50              |           | 36       |          |          |
| (1) 施設の設置目的の達成   |                    | 35              | 3         | 21       |          |          |
| ① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。   |                    |                 |           |          |          |          |
| ② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。   |                    |                 |           |          |          |          |
| ③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。  |                    |                 |           |          |          |          |
| ④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。  |                    |                 |           |          |          |          |
| [評価の理由、要因・原因分析]  |                    |                 |           |          |          |          |
| 利用者数   | 【参考】H30年度<br>(更新前) | H31年度<br>(R1年度) | R2年度      | R3年度     | R4年度     | R5年度     |
| 要求水準   | 275,000人           | 275,000人        | 275,000人  | 275,000人 | 275,000人 | 275,000人 |
| 目標値  | 310,000人           | 282,000人        | 284,000人  | 282,000人 | 280,000人 | 278,000人 |
| 実績   | 209,124人           | 189,275人        | 115,750人  | 147,970人 | 211,652人 | 258,566人 |
| ※ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">    </span> ・・・評価対象年度   |                    |                 |           |          |          |          |
| ※R2 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、R2年4月11日～5月12日まで32日間休園   |                    |                 |           |          |          |          |
| ※R3 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、R3年5月12日～6月20日まで40日間休園   |                    |                 |           |          |          |          |
| ① 指定管理者が提案した事業計画に沿って施設の管理運営が行われた。利用者数については、令和元年度は、集客が見込める土日祝の天候不良や台風の九州への接近等が影響した。令和2年度から3年度にかけては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市の要請による臨時休園やキャンプ場及びBBQ広場の施設利用停止により、目標値を大きく下回った。コロナ禍の影響が治まってきた令和4年度以降は利用者数が徐々に回復し、令和5年度は達成率93%と、目標値には達していないものの、コロナ禍以前よりも増加している。         |                    |                 |           |          |          |          |
| ② 利用者の利便性を高めるため、「安心安全きれい」をテーマに芝生の手入れや園内清掃に注力しており、利用者の好評を得ている。<br>利用者増加のため、集客力のあるイベントである「平尾台観光まつり」や「新米まつり」、「平尾台はるはなび」などを実施し、令和5年度には「開園20周年式典」を開催するなど、利用者数の増加につながった。<br>「平尾台トレイルランニングレース」、「平尾台クロスカントリー」、TGC開催に伴うダンスワークショップ「EXILE TETSUYA with EXPG」等のスポーツイベント、 |                    |                 |           |          |          |          |

「Hiraodai Townsheep Camp 2023 音楽ライブイベント」、「HTCS INN KITAKYUSHU」、「グラスフェスティバル」等の音楽イベントの共催の他、会場としての役割も果たした。

平尾台の特質を活かしたガイドツアーイベントである「カルストジャングル体験ツアー」や、市内の小学4年生を対象とした「SDGs 環境アクティブ・ラーニング」も実施した。

通常の営業時間は9時から17時までであるが、利用促進のため、夏休み中の土日祝日の閉園時間を1時間延長し18時までにしたほか、特に夜間の利用促進を図るため、夏期には流星群鑑賞会、秋期にはお月見会、新春には初日の出会等の天体観測イベントを実施した。

施設等については、令和3年5月には、グランピングのオープン(令和6年3月に撤退)、令和4年9月には、キャンピングカーや愛犬家のニーズに応え、RVパーク及びドッグランの新設、令和5年4月には、自然体験アスレチック「平尾台アスレ」のグランドオープン、令和6年4月には、幼児等向けバッテリーカーの導入、家族で楽しめるパークゴルフ場の整備など施設の魅力を活かしたアクティビティ等を設置した。

その他、SL型連結バス「きたぼっぼ」の運行に加え、ランドカー(ゴルフカート)2台の導入、キャンプ場・BBQ広場・各種工房のネット予約システム、キャンプ場のオートサイト11区画にAC電源設備を導入するなど、利便性向上のための工夫が見られた。

③ 該当せず

④ 営業活動については、西日本各地の観光関連事業者との連携による「西日本旅行ネットワークの会」を令和4年7月に設立し、「平尾台自然の郷」を含めた新たな旅行プランの提案、会員であるフェリー会社とフェリー用観光MAPの制作など、広域からの誘客を図った。更には、近隣市町村などの集客施設を訪問し、相互PRを実施した。

広報活動については、春、夏休み、秋の行楽シーズンに焦点を当てた営業・広報活動を実施した。

プレスリリース配信サービスを利用し、WEBメディアから新聞、雑誌、TV、フリーペーパーまで幅広いメディアにアプローチしPR活動を行った。また、SNS(Instagram、Twitter、Facebook)の発信やイベントサイトへの情報登録を行い、メディアの取材にも積極的に対応した。

北九州市役所等(観光課、地方創生推進室、北九州観光コンベンション協会、北九州フィルムコミッション)と連携し、PR及び情報発信を行った他、福岡都市圏内の駅(JR、地下鉄、西鉄)や道の駅へのポスター掲示に加え、北九州市内を始め、福岡都市圏、京築方面、筑豊方面へのイベントチラシの配布、旅行情報誌への企画広告の掲載も行った。

(2) 利用者の満足度

|                                      |    |   |    |
|--------------------------------------|----|---|----|
| ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。 | 15 | 5 | 15 |
| ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。     |    |   |    |

- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

**[評価の理由、要因・原因分析]**

(芝生の手入れ)

| 満足度 | 【参考】H30年度<br>(更新前) | H31年度<br>(R1年度) | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 |
|-----|--------------------|-----------------|------|------|------|------|
| 目標値 | —                  | 99%             | 99%  | 99%  | 99%  | 99%  |
| 実績  | —                  | 99%             | 99%  | 94%  | 99%  | 96%  |

※ 「非常に満足」と「満足」を満足としている。

※ ・・・評価対象年度

※ 令和元年度からアンケート項目として設置

(接遇)

| 満足度 | 【参考】H30年度<br>(更新前) | H31年度<br>(R1年度) | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 |
|-----|--------------------|-----------------|------|------|------|------|
| 目標値 | —                  | 99%             | 99%  | 99%  | 99%  | 99%  |
| 実績  | —                  | 99%             | 98%  | 94%  | 98%  | 98%  |

※ 「とても良い」と「良い」を満足としている。

※ ・・・評価対象年度

※ 令和元年度からアンケート項目として設置

(トイレ・清掃状況)

| 満足度 | 【参考】H30年度<br>(更新前) | H31年度<br>(R1年度) | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 |
|-----|--------------------|-----------------|------|------|------|------|
| 目標値 | —                  | 99%             | 99%  | 99%  | 99%  | 99%  |
| 実績  | —                  | 98%             | 98%  | 91%  | 96%  | 93%  |

※ 「とても良い」と「良い」を満足としている。

※ ・・・評価対象年度

※ 令和元年度からアンケート項目として設置

① 平成31年度から令和5年度の利用者アンケートの結果、「芝生の手入れ」「接遇」では、「非常に満足」「とても良い」と「満足」「良い」が大部分を占め(年により94%～99%)、「不満」「悪い」や「非常に不満」「非常に悪い」の割合はかなり小さい。「トイレ・清掃状況」について、施設の老朽化や、洋式化の希望意見等指定管理者の努力によらない要素があるにもかかわらず、清掃等への評価が高く、「とても良い」「良い」の割合が高くなっている(年により91%～98%)。また、再来希望者は年により88%～100%と満足度は非常に高いものとなっている。

② アンケートにより把握した利用者の意見や要望に関しては、要望の多かった日陰などの暑さ対策として、骨組みとサンシェードを利用した仮設の日陰を設置した他、遊具等増設の要望を受け、バスケットゴールやハイジブランコ、7月21日～8月31日の間には、幼児が遊べる水あそび場を設置した。その他には、洋式トイレ、キャンプ場のオートサイト11区画のAC電源設備、キャンプ場のセルフ型自動販売機、キッズスペース及び旧物産館（多目的ホール）のフリーWi-Fiの設置、キャンプ場、BBQ広場、各種工房のネット予約システム、キャッシュレス決済システム（インフォメーション、売店、ファーストフード、キャンプ場）の導入、高齢者や障害者、児童等が利用しやすい体験教室の実施、ジョギングコースやシャワー室の整備を行った

③ 接客研修の充実の他、毎日の朝礼ではスタッフ全員でのブリーフィングの実施、更にはグループウェア活用によるスタッフ全員の情報共有を図り、利用者からの苦情などに素早く適切な対応がとれるよう努めた

④ SNS（X、Instagramのほか、TikTokも導入）やYouTube（園内ライブカメラ）、園内4カ所に導入したデジタルサイネージによる情報発信のほか、イベントサイトへの情報登録等を行った。

イベント情報や工房で実施する講座等の市政だよりへの掲載、市内関連施設（約20施設）への施設紹介ポスターの送付、北九州モノレール各駅へのポスター掲示など、随時情報発信した。

イベントチラシは北九州市内の他、福岡都市圏や京築方面、筑豊方面にも配布し、市内外の保育所・幼稚園（約750施設）に対して施設紹介のダイレクトメールを送付した。

さらに、各種Web広告、フリーペーパー、情報誌にもイベント情報の掲載依頼を行い、幅広く利用者増への情報提供を行った。

⑤ その他サービスの質の向上を図るため、利用者の要望に対して、グループウェアを使用した情報共有やコミュニケーションの効率化により丁寧な対応や素早い社内伝達を実施した。

野外施設が天候に左右されやすい点を考慮し、旧物産館の一部を環境体験学習の場やデイサービスなどの各種団体の休憩場などの目的で、雨天でも利用できる多目的スペースとして整備した。また、キッズスペース内に授乳室を設け、暑さ対策のため、水遊び場のせせらぎ、幼児用簡易プールや水ミスト装置等を設置、乳児・幼児連れの来園者が安心して利用できる空間づくりに努めた。その他、乗用式、自走式草刈機及びスタッフによる芝刈を休園日も含めてほぼ毎日実施し、年間を通してきれいな芝生を維持した。

|   |    |   |    |
|---|----|---|----|
| 2 効率性の向上等に関する取組み  | 30 |   | 28 |
| (1) 経費の低減等  |    |   |    |
| ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。 | 20 | 5 | 20 |
| ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者                             |    |   |    |

から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。

③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[評価の理由、要因・原因分析]

| 指定管理料 | 【参考】H30年度<br>(更新前) | H31年度<br>(R1年度) | R2年度      | R3年度      | R4年度      | R5年度      |
|-------|--------------------|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 予算    | 155,174千円          | 155,882千円       | 157,518千円 | 157,519千円 | 157,517千円 | 158,517千円 |
| 決算    | 155,174千円          | 155,882千円       | 157,518千円 | 157,519千円 | 157,517千円 | 158,517千円 |

| 総事業費 | 【参考】H30年度<br>(更新前) | H31年度<br>(R1年度) | R2年度      | R3年度      | R4年度      | R5年度      |
|------|--------------------|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 予算   | 239,824千円          | 178,483千円       | 180,021千円 | 180,026千円 | 179,931千円 | 198,125千円 |
| 決算   | 207,482千円          | 195,595千円       | 168,581千円 | 176,931千円 | 185,315千円 | 198,142千円 |

| 光熱水費 | 【参考】H30年度<br>(更新前) | H31年度<br>(R1年度) | R2年度    | R3年度    | R4年度    | R5年度    |
|------|--------------------|-----------------|---------|---------|---------|---------|
| 予算   | 6,257千円            | 5,984千円         | 5,984千円 | 5,984千円 | 5,984千円 | 6,493千円 |
| 決算   | 5,184千円            | 5,022千円         | 5,190千円 | 5,102千円 | 4,665千円 | 4,487千円 |

※  ・・・評価対象年度

※R2 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、R2年4月11日～5月12日まで32日間休園

※R3 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、R3年5月12日～6月20日まで40日間休園

① 芝刈り、草刈は地形に合わせ、乗用式・自走式・リモコン式草刈り機を使用し、夜間・休園日に自動運転できる芝刈り機の導入により、広範囲にわたる整備をほぼ毎日実施した。一部や簡易な施設内外の補修を運営スタッフが行うことに加え、草ソリ場やローラー滑り台の補修、ゆうゆう広場の安全対策などの施設修繕も指定管理者自らで行い、経費の削減を図った。また、予想入場者数に基づくオペレーションカレンダーによる、効率的なスタッフの配置を実施した。

通常の営業時間は9時から17時までであるが、利用者の少ない冬期の営業時間を10時から16時までに短縮することで、光熱水費等の経費節減を図った。水道使用量については、人気の水遊び場である「せせらぎ広場」に地元町内が管理する畑灌水の余水を利用させてもらうとともに、植物灌水に「せせらぎ広場」の排水を利用することで節水に努めた。電力については、節電や契約の見直しなどにより電気料金の低減、建屋の空調稼働状態を監視し省エネに努めた。また、夏場の水ミスト装置やスプリンクラー、ビニールプールの設置により、熱中症の防止と電力量の低減に努めた。

② 運営スタッフで出来る範囲の施設整備・維持管理を行うことで、再委託業務経費を低減できるよう努めた。

また、ログボランティアの協力を得て、椅子やベンチ、木の手作りおもちゃの製作、修理などを実施することで、経費の節約を図った。

③ 施設の維持管理や講座・イベントなど、ハード事業、ソフト事業ともにほぼ計画どおりに実施した。

園内レストランの運営を直営から委託運営へと変更し、レストランとショップの集約による光熱水費や市への目的外使用料の縮減等に努めた。

総事業費については、評価対象期間の5年間の平均決算額は184,913千円で、予算平均決算額183,317千円を上回っているが、これは、入園者数増、利用者満足度上昇のための積極的な施設や設備へ投資した結果であり、評価対象年度の前年度（平成30年度）の実績207,482千円との比較では22,569千円減少（△10.1%）している。また、悪天候や台風、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入園者数が目標値を大きく下回った平成31年度から令和3年度を除いた2年間の平均決算額は191,729千円で、評価対象年度の前年度（平成30年度）の実績207,482千円と比較して15,753千円減少（△7.6%）しており、利用者数は増加しているが、総事業費の増加はなく、施設の管理運営全体を通して経費の効果的・効率的な執行がなされたと考えられる。

光熱水費については、評価対象期間5年間の平均決算額は4,893千円で、予算平均決算額6,086千円と比較して、1,193千円減少（△19.6%）しており、評価対象年度の前年度（平成30年度）の実績5,184千円と比較しても291千円減少（△5.6%）している。また、悪天候や台風、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入園者数が目標値を大きく下回った平成31年度から令和3年度を除いた2年間の平均決算額は4,576千円で、予算平均決算額6,389千円と比較して、1,813千円減少（△28.4%）しており、評価対象年度の前年度（平成30年度）の実績5,184千円と比較しても608千円減少（△11.7%）している。施設の管理運営全体を通して経費の効果的・効率的な執行がなされたと考えられる。

**(2) 収入の増加**

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

10

4

8

**[評価の理由、要因・原因分析]**

| 収入     |    | 【参考】H30年度<br>(更新前) | H31年度<br>(R1年度) | R2年度     | R3年度     | R4年度     | R5年度     |
|--------|----|--------------------|-----------------|----------|----------|----------|----------|
| 利用料金収入 | 予算 | 20,058千円           | 21,057千円        | 21,057千円 | 21,057千円 | 21,057千円 | 28,073千円 |
|        | 決算 | 17,079千円           | 22,198千円        | 18,922千円 | 22,921千円 | 29,286千円 | 20,774千円 |
| 自主事業利益 | 予算 | 64,593千円           | 1,250千円         | 1,152千円  | 1,156千円  | 1,063千円  | 59千円     |
|        | 決算 | 29,668千円           | △3,371千円        | △4,577千円 | △3,929千円 | △3,904千円 | 784千円    |

※令和元年度から、自主事業について、収入ではなく利益で決算が行われている（売上額から経費を差し引いた額）

※ ・・・評価対象年度

※R2 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、R2年4月11日～5月12日まで32日間休園

※R3 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、R3年5月12日～6月20日まで40日間休園

① 利用者数増加のため、集客力のあるイベントである「平尾台観光まつり」や「新米まつり」、「平尾台はるはなび」などを実施し、令和5年度には「開園20周年式典」と年間を通じて様々なメモリアルイベントを開催するなど、多くの利用者を受け入れ、収入増に努めた。

「平尾台トレイルランニングレース」、「平尾台クロスカントリー」、TGC開催に伴ったダンスワークショップ「EXILE TETSUYA with EXPG」等のスポーツイベント、「Hirao dai Townsheep Camp 2023音楽ライブイベント」「HTCS INN KITAKYUSHU」、「ブラスフェスティバル」等の音楽イベント、平尾台の特質を活かしたガイドツアーイベント「カルストジャングル体験ツアー」、市内の小学4年生を対象とした「SDGs環境アクティブ・ラーニング」、夏期には流星群鑑賞会、秋期にはお月見会、新春には初日の出会等の天体観測イベントも実施し、利用者増に伴う収入の増加を図った。

施設等については、令和3年5月にグランピングをオープン（令和6年3月に撤退）、令和4年4月には、幼児等向けバッテリーカーの導入、家族で楽しめるパークゴルフ場の整備、令和4年9月には、キャンピングカーや愛犬家のニーズに応え、RVパーク及びドッグランと併せてトレーラーカフェの新設、令和5年4月には、自然体験アスレチック「平尾台アスレ」のグランドオープンなど、施設の魅力を活かしたアクティビティ等を設置し、収入増への取り組みを実施した。

その他、来園者のニーズに合わせキャンプ場やBBQ場関連販売品の充実を図り、新たにセルフ型自動販売機、有料のモバイルWi-Fiを導入、廃材を利用したスウェーデントーチの販売促進、イベント時のキッチンカー導入、要望のあったSL型連結バス「きたぽっぽ」の平日団体運行（事前予約制）実施、平日の園内移動手段としてランドカーの運行等により収入増に努めた。

利用料金収入については、評価対象期間の5年間の平均決算額は22,820千円で、予算平均決算額22,460千円と同程度だが、評価対象年度の前年度（平成30年度）の実績17,079千円と比較して5,741千円増加（33.6%）した。なお、令和5年度の利用料金収入減は、指定管理事業と自主事業の会計ルール見直しによるものである。

自主事業収益については、平成31年度から令和4年度まで利益が出ていない。これは、入園者数の増加を目指すため、グランピング事業、ドッグラン、「平尾台アスレ」の整備に、民間活力の導入による施設投資等を行ったためである。その結果、令和5年度は784千円の収益が発生し、指定管理事業に充当した。

|                                      |           |   |           |
|--------------------------------------|-----------|---|-----------|
| <b>3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み</b>     | <b>20</b> |   | <b>14</b> |
| (1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況             |           |   |           |
| ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。 | 10        | 4 | 8         |
| ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コ        |           |   |           |

|  |    |   |   |
|--|----|---|---|
| ストの水準、研修内容など)。   |    |   |   |
| ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。   |    |   |   |
| <b>[評価の理由、要因・原因分析]</b>   |    |   |   |
| <p>① シフト制によるローテーション勤務やオン・オフシーズンを考慮した効率的な人員配置を行った。</p> <p>② 公園管理運営士資格の取得、資格所持者の新規採用、旅行業務取扱管理者資格の取得、OJTによる平尾台ガイドや工房講師の育成、各種研修（普通救命講習、SDGs研修、人権研修）の実施によりスタッフの能力向上に取り組んだ。</p> <p>③ 「平尾台観光祭」、「平尾台ふゆはなび」、「新米まつり」などの主要なイベントについては、地元の団体や企業の協力・支援を得ながら実施した。毎月、地元団体・企業・行政を交えての東谷地区連絡調整会議を実施し、地元との情報共有や協議を行い、地域振興（新米祭など）を図っている。アクセス道路での通行支障箇所の関係機関への通報や初期対応実施など、地域道路の安全確保にも貢献している。</p> <p>講座や教室の実施に当たっては、それぞれの工房で活動するボランティア（石窯ボランティア、そば打ちボランティア、ログハウスボランティアなど）の協力を得て行った。</p> <p>また、令和5年2月に旅行業登録を行い、小倉駅発着のバスツアーを実施する等の取組を通じて、北九州市内のみにとどまらず、近隣地域の様々な団体と連携を図っている。</p> <p>さらに、福岡県の施設である平尾台自然観察センターと連携を図りながら、きのこ鑑賞会やきのこウォッチング事業等を実施した。</p> |    |   |   |
| <b>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</b>  |    |   |   |
| ① 施設の利用者の個人情報を守るための対策が適切に実施されているか。   | 10 | 3 | 6 |
| ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。   |    |   |   |
| ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。   |    |   |   |
| ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。   |    |   |   |
| ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。  |    |   |   |
| ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。  |    |   |   |
| ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。  |    |   |   |
| <b>[評価の理由、要因・原因分析]</b>   |    |   |   |
| <p>① ボランティア登録・イベント参加者などの個人情報については、法令・条例に従って適切に管理している。</p>  |    |   |   |
| <p>②③ 施設の利用において、特定の個人や団体を優先せず、また、特別の理由がなく利用を</p>   |    |   |   |

拒むことが無いよう平等利用を徹底している。

- ④ 収支の内容についてはモニタリングを行うことで適切に行われていることを確認している。
- ⑤ 日常の園内巡視、建物・設備点検はバリアフリーの視点で行い、障害の排除に心がけている。  
施設が標高の高い場所に位置するため、気象情報の的確な把握に努め、臨時休園やアーリークローズを適時実施することなどにより事故防止を図った。  
アクセス道路での通行支障箇所の関係機関への通報や初期対応実施など、施設周辺エリアを含めた利用者の安全確保に努めた。
- ⑥ 防犯に関しては、開園時は園内・駐車場・ゲートの巡視、夜間については機械警備と夜間の巡視によりより防犯対策を実施している。また、防犯設備としてセンサーライトやウェブカメラを設置し、防犯機能を高めている。  
防災に関しては、対応マニュアルに基づく体制作りに加えて、特に気象情報の収集に力をいれて予知防災に努めている。
- ⑦ 事故発生時は、マニュアルに基づいた対応が適切に行われている。

※上記内容は、直近最新のものに修正しています。

【総合評価】

| 合計得点   | 78 | 評価ランク | B |
|--|----|-------|---|
| <p data-bbox="248 293 427 327">【評価の理由】</p> <p data-bbox="260 338 1457 416">施設の管理運営及び維持管理、植物の維持管理については、指定管理者が提案した事業計画に沿って行われている。</p> <p data-bbox="260 427 1457 775">『1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み』のうち、「（1）施設の設置目的の達成」については、大小さまざまなイベントを実施し、積極的な広報活動を実施した。利用者数について、令和元年度は集客が見込める土日祝の天候不良や台風九州接近などの影響があったこと、令和2年度から3年度にかけては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市の要請による臨時休園やキャンプ場及びBBQ広場の施設利用停止により、目標値を大きく下回った。コロナ禍の影響が治まってきた令和4年度以降は利用者数が徐々に回復し、令和5年度は達成率93%と、目標値には達していないものの、コロナ禍以前よりも増加している</p> <p data-bbox="260 786 1457 954">「（2）利用者の満足度」については、平成31年度から令和5年度の利用者アンケートによれば、「満足」、「大満足」が大部分を占め（年により94%～99%）、「不満」や「大不満」の割合は非常に小さい。再来希望者も88%～100%と満足度は非常に高いものとなっている。</p> <p data-bbox="260 965 1457 1267">『2 効率性の向上等に関する取組み』のうち、「（1）経費の低減等」については、夜間・休園日に自動運転できる芝刈り機の導入、レストランの運営を直営から委託運営へと変更する等を行うことで経費の削減低減を図った。光熱水費の節減については、デマンド計の設置による電力使用量を把握する仕組みの構築や、レストランとショップの集約、植物灌水にせせらぎの排水を使用するなどの工夫を行っている。さらに、園内施設の修繕を園内スタッフで対応出来るものについては積極的に対応し、経費の低減をしっかりと行っている。</p> <p data-bbox="260 1279 1457 1491">「（2）収入の増加」については、予算額には届かなかったが、集客力のある様々なイベントも実施し、利用者増に伴う収入の増加を図る、グランピング、バッテリーカー、パークゴルフ場、RVパーク、ドッグラン、トレーラーカフェ、「平尾台アスレ」のような施設の魅力を活かした新たなアクティビティ等を設置する等、指定管理者が主体的に取り組みを行った。</p> <p data-bbox="260 1503 1457 1951">『3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み』については、ローテーション勤務やオン・オフシーズンを考慮した効率的な人員配置、公園管理運営士資格の取得、OJTによる平尾台ガイドや工房講師の育成、各種研修（普通救命講習、SDGs研修、人権研修）の実施によりスタッフの能力向上を図っている。平尾台地域の地元団体や企業の協力・支援を受けながらの主要イベントの実施に加え、平尾台地域の資源を活かした商品開発を行うなど、平尾台地域の活性化においても大きな役割を果たしている。標高の高い位置する施設であるため、気象情報の収集に努めて予知予防に努めるとともに、臨時休園やアーリークローズを着実に実施して事故防止を図っている。施設内だけにとどまらず、平尾台地区へのアクセス道路での支障発見通報や初期対応実施など、平尾台地域に貢献する危機管理を実施している。</p> <p data-bbox="292 1962 1126 1995">これら进行评估して、評価ランクB（合計得点78点）とする。</p> |    |       |   |

**[北九州市指定管理者の評価に関する検討会議における意見]**

適正に評価されている。今後も、市と指定管理者と協働で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。

**【評価レベル】**

| 評価レベル | 乗率   |       | 評価レベルの考え方                    |
|-------|------|-------|------------------------------|
| 5     | 100% | 良     | 要求水準を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている |
| 4     | 80%  | ↑     | 要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている      |
| 3     | 60%  | 普 通   | 要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている   |
| 2     | 40%  | ↓     | 要求水準を下回る管理運営がなされている          |
| 1     | 20%  |       | 要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている       |
| 0     | 0%   | 適切でない | 不適切な管理運営がなされている              |

**【総合評価】**

- A：総合評価の結果、優れていると認められる  
(合計得点が80点以上)
- B：総合評価の結果、やや優れていると認められる  
(合計得点が70点以上80点未満)
- C：総合評価の結果、適正であると認められる  
(合計得点が60点以上70点未満)
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる  
(合計得点が50点以上60点未満)
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる  
(合計得点が50点未満)